



【証券コード：9651】

# 日本プロセス株式会社 決算説明会

2023年5月期



2023年7月18日

1. 2023年5月期 連結決算について

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 2024年5月期 重点取組みテーマ

4. 2024年5月期 連結数値計画

1. 2023年5月期 連結決算について

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 2024年5月期 重点取組みテーマ

4. 2024年5月期 連結数値計画

# 2023年5月期 連結決算の概況

単位：百万円

	期首 計画	計画 対比	実績	前年 対比	前年
売上高	8,400	+523 +6.2%	8,923	+976 +12.3%	7,947
営業利益 (利益率)	780 (9.3%)	+128 +16.4%	908 (10.2%)	+132 +17.1%	775 (9.8%)
経常利益 (利益率)	830 (9.9%)	+137 +16.6%	967 (10.8%)	+159 +19.7%	808 (10.2%)
当期純利益 (利益率)	535 (6.4%)	+147 +27.6%	682 (7.6%)	+149 +28.1%	532 (6.7%)

## 売上高

前年対比：+976百万円 (+12.3%)

- 社会インフラの一部で遅れも、コロナ禍からの回復による成長トレンドを維持
- 計画的に受注した大規模案件請負も貢献

## 営業利益

前年対比：+132百万円 (+17.1%)

- サービス価値向上による採算性の改善
- プロジェクト管理の強化による不採算プロジェクトMin化

## 経常利益

前年対比：+159百万円 (+19.7%)

## 当期純利益

前年対比：+149百万円 (+28.1%)

- 賃上げ税制による減税

## ● 経営成績

- ・ 売上高、営業利益ともに上場来最高を更新
- ・ 営業利益率10%を達成

## ● 株主様への還元

記念配当 5 円を繰り入れ、さらに2円増配、年間配当35円

## ● 社員への還元

- ・ 期首に約 3 %の賃上げを実施
- ・ 業績連動賞与総額は6期連続最高額を更新

## ● 採用活動

Web化、多チャンネル化によりエントリー数を増加させ、  
新卒38名採用

● ESG投資を継続

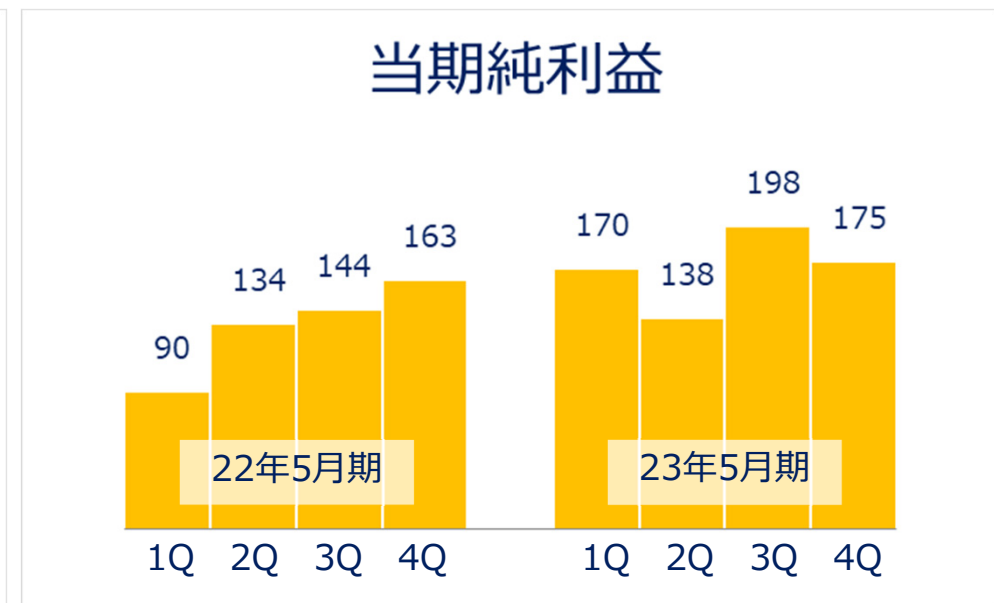
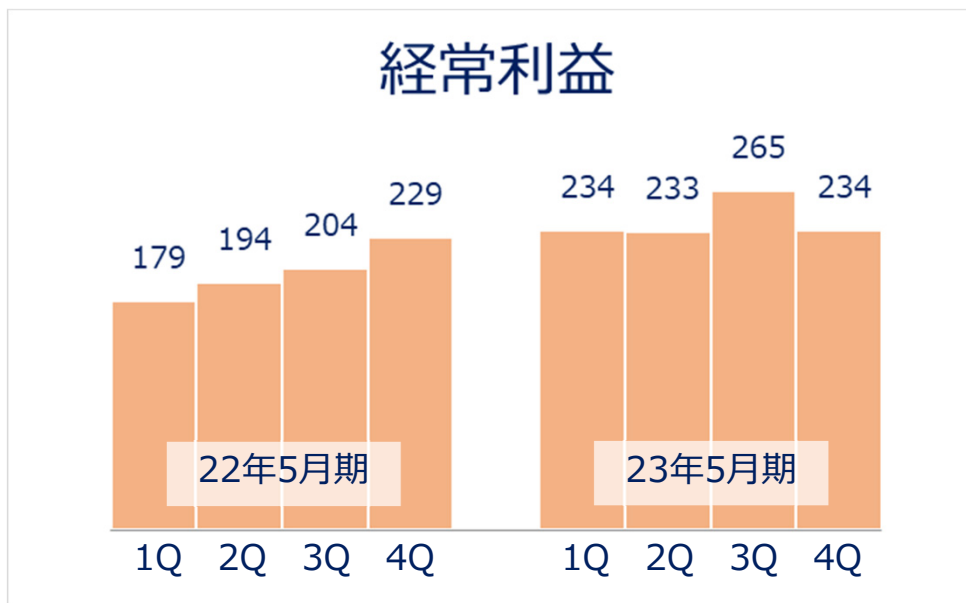
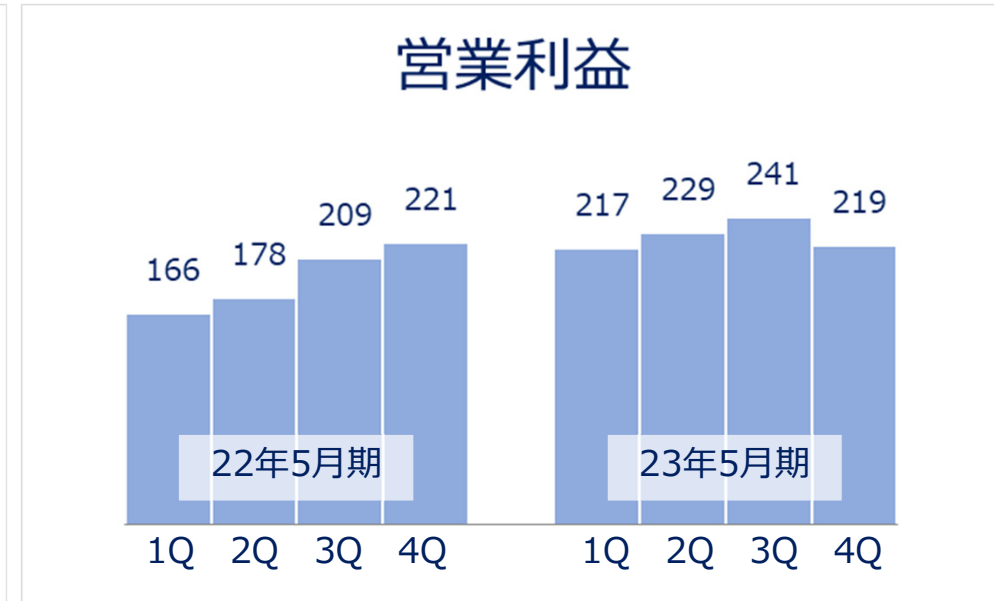
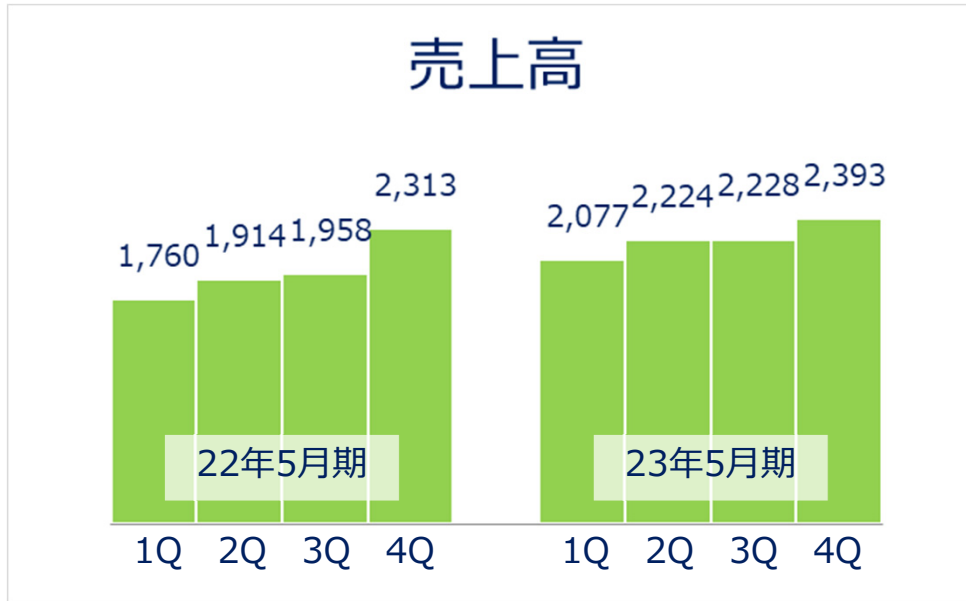
- ・ 第71回日本学生支援債券 (ソーシャルボンド)
- ・ 東急株式会社第13回無担保社債  
(サステナビリティボンド)

● CSRの一環として、税引後利益の1%を目途に  
2団体への寄付を継続

- ・ 公益財団法人 SBI子ども希望財団
- ・ 特定非営利活動法人 Reach Alternatives

# 2023年5月期 連結決算の概況（四半期推移）

単位：百万円





# 2023年5月期 セグメント別売上増減

単位：百万円

976百万円の増加（前年同期比：+12.3%）



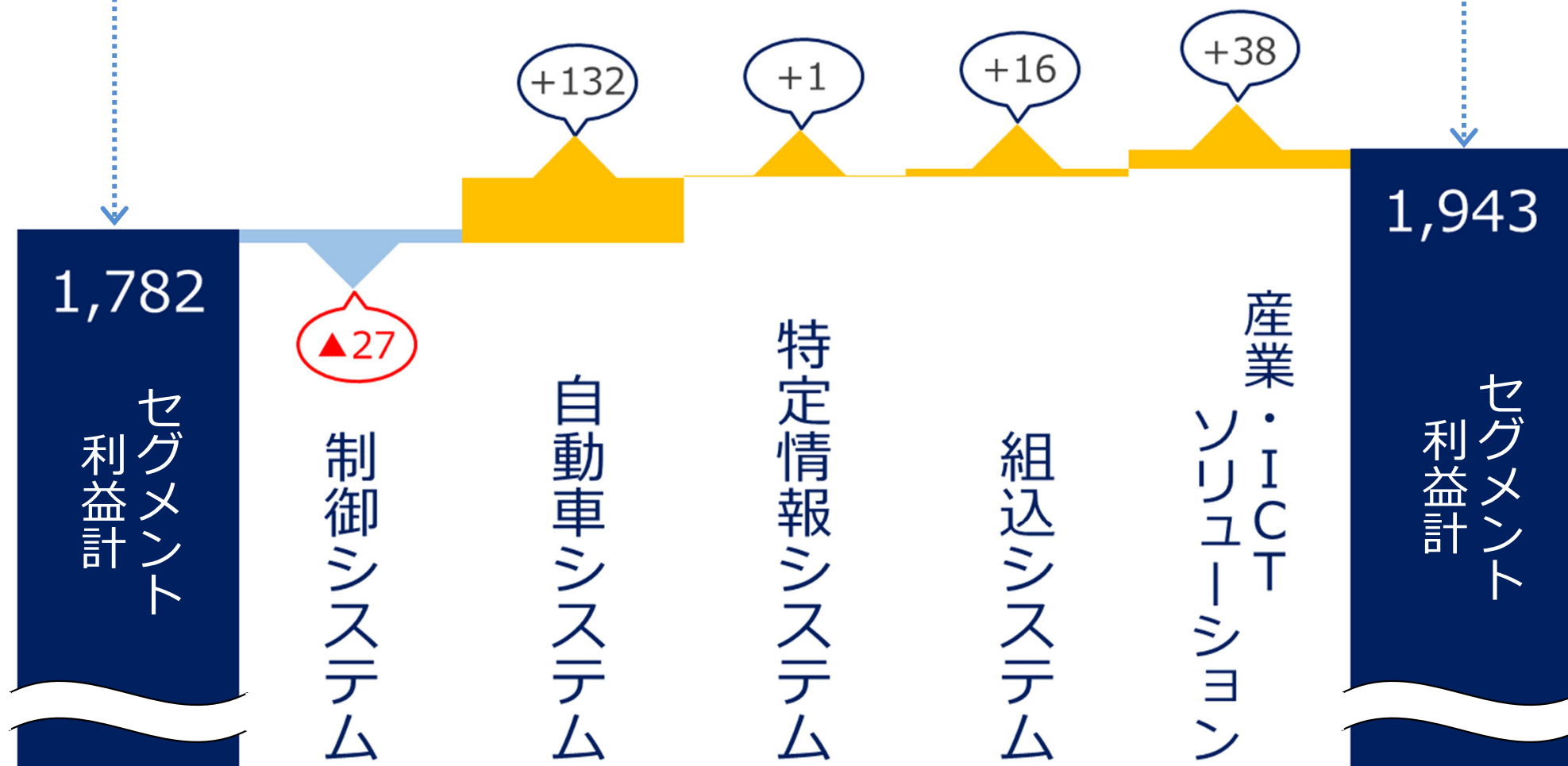
22年5月期

23年5月期

# 2023年5月期 セグメント別利益増減

単位：百万円

161百万円の増加（前年同期比：+9.0%）



22年5月期

23年5月期

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

## 制御システム

- 再生可能エネルギーは体制拡大  
プラント監視制御は堅調
- ATOSは新たな更新案件が立ち上がり好調
- 新幹線は保守フェーズに入り体制縮小
- 在来線の運行管理はコロナ禍により開発量が減少

単位：百万円

セグメント		22年5月期 (利益率)	23年5月期 (利益率)	増 減 (増減率)
制 御 シ ス テ ム	売上	1,408	1,429	+20 (+1.5%)
	利益	330 (23.4%)	302 (21.1%)	▲27 (▲8.4%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

## 自動車システム

- AD/ADAS関連は4Qに新たな案件を受注するなど好調
- 電動化案件は海外向け開発規模が拡大し受注量が増加
- 車載情報は開発量が大きく増加

\*AD/ADAS：自動運転/先進運転支援システム

単位：百万円

セグメント		22年5月期 (利益率)	23年5月期 (利益率)	増 減 (増減率)
自動車システム	売上	1,871	2,148	+277 (+14.8%)
	利益	490 (26.2%)	623 (29.0%)	+132 (+27.1%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

## 特定情報システム

- 衛星関連は新たな案件に参画し好調
- 衛星画像関連は堅調も、AD/ADAS関連の画像認識/識別は体制を縮小
- 危機管理の大規模案件請負は収束

単位：百万円

セグメント		22年5月期 (利益率)	23年5月期 (利益率)	増 減 (増減率)
特定情報システム	売上	739	811	+72 (+9.9%)
	利益	165 (22.4%)	167 (20.6%)	+1 (+0.7%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

## 組込システム

- ストレージデバイスは担当範囲の拡大に伴い好調
- 新ストレージ開発は概ね横ばい
- IoT建設機械は受注量が減少し体制縮小

単位：百万円

セグメント		22年5月期 (利益率)	23年5月期 (利益率)	増 減 (増減率)
組込システム	売上	1,223	1,334	+111 (+9.1%)
	利益	284 (23.3%)	301 (22.6%)	+16 (+5.8%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

## 産業・ICTソリューション

- 航空宇宙関連は大規模案件に参画し売上増加
- 駅務機器開発は複数の案件を受注し好調
- システム構築関連は受注量が増加

単位：百万円

セグメント		22年5月期 (利益率)	23年5月期 (利益率)	増 減 (増減率)
産業・ICT ソリューション	売上	2,705	3,199	+494 (+18.3%)
	利益	510 (18.9%)	549 (17.2%)	+38 (+7.5%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

# 連結財務状況

単位：百万円

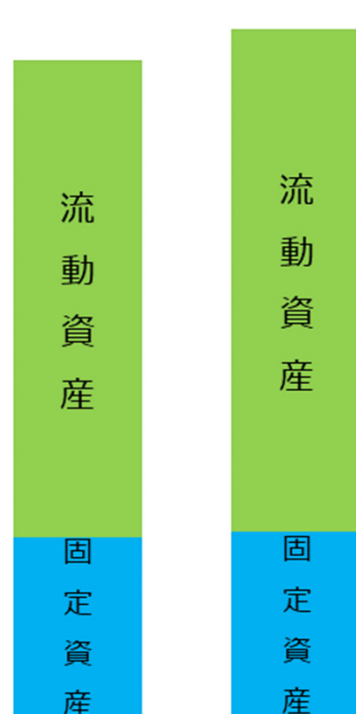
## 資産の部

## 負債/純資産の部

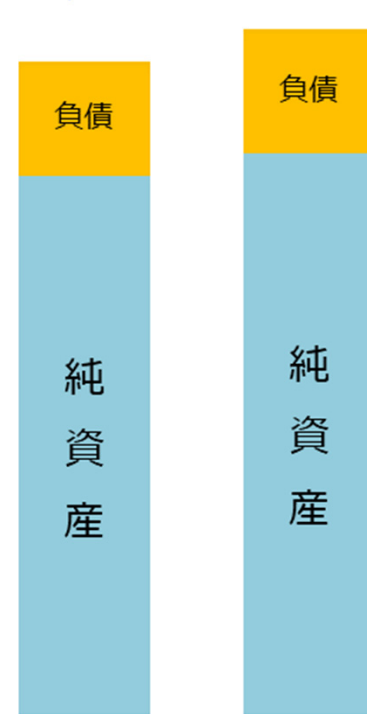
資産：575百万円の増加

負債：169百万円の増加  
純資産：405百万円の増加

11,735      12,311



11,735      12,311



22年5月期末    23年5月期末

22年5月期末    23年5月期末

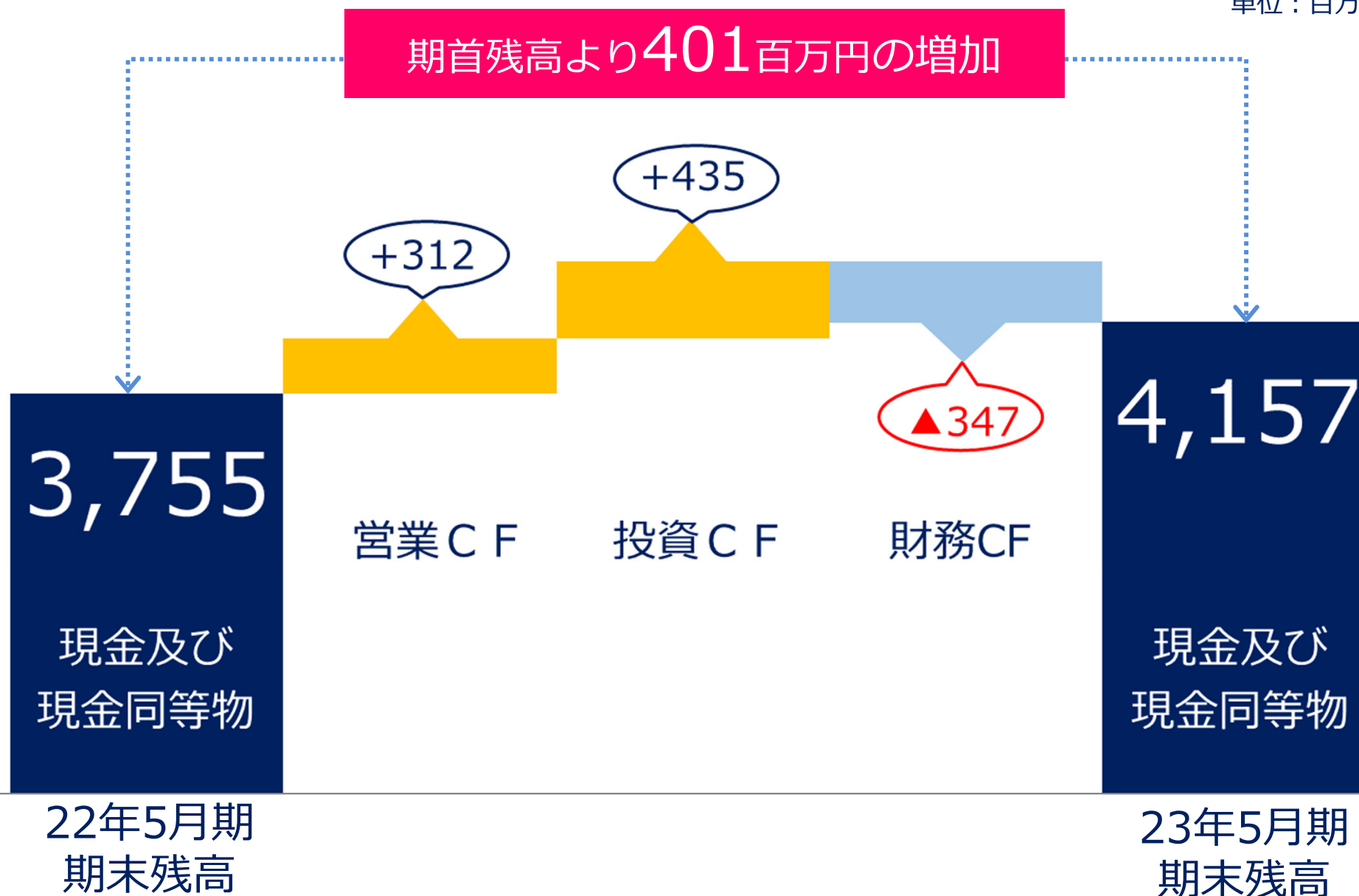


# 財務指標（その他）

	22年5月期	23年5月期
純資産額	9,671百万円	10,077百万円
1株当たり純資産	1,002.86円	1,043.28円
1株当たり当期純利益	55.6円	70.7円
自己資本比率	82.4%	81.9%
自己株式	1,000,926株	985,439株
従業員数	674人	691人

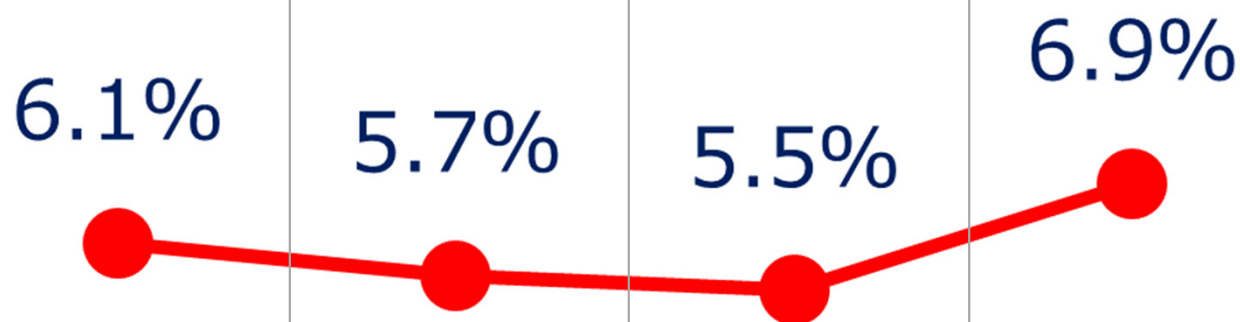
# 2023年5月期 連結キャッシュ・フローの状況

単位：百万円



※23年5月期期末残高は、為替変動による増加分1百万円を含んでおります。

# 自己資本利益率（ROE）の推移



	20年5月期	21年5月期	22年5月期	23年5月期
1株当たり当期純利益(円)	57.4	56.3	55.6	70.7
1株当たり純資産(円)	973.0	999.9	1002.9	1043.3
当期純利益(百万円)	558	544	532	682
純資産額(百万円)	9,396	9,675	9,671	10,077

1. 2023年5月期 連結決算について

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 2024年5月期 重点取組みテーマ

4. 2024年5月期 連結数値計画

## 中期経営ビジョン

ソフトウェアで  
社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献する。

## 第6次中期経営計画 基本方針

1. 人材育成のための大規模案件請負の推進
  - ①大規模案件受注に向けた営業力強化
  - ②新規設計力の向上
  - ③マネージメント力の向上
2. トータル・ソフトウェア・エンジニアリングサービス (T-SES) のトータル度向上

1. 人材育成のための大規模案件請負の推進
  - ①大規模案件請負受注に向けた営業力強化  
部門間の営業連携と本社の営業支援を強化し、大規模案件の請負を狙う。
  - ②新規設計力の向上  
大規模案件等で、新規設計する機会をより多く創出し、新規設計力の向上を図る。
  - ③マネージメント力の向上  
大規模案件等で、プロジェクトをマネージする機会をより多く創出し、マネージメント力の向上を図る。
2. T-SESのトータル度向上  
長期的な取組であるT-SESのテーマとして、各分野でトータル度を向上し、顧客へのサービス価値を拡大する。

## 1. 人材育成のための大規模案件請負の推進

- エネルギー分野は実績を重ね、人材提供型から成果提供型へ
- 危機管理分野は成功を収め、次案件獲得へ
- 航空宇宙分野はフェーズ1の経験を活かしフェーズ2へ
- 鉄道子会社向けは業務系システムで成功を収め、次案件獲得へ



実施部門では構成員と組織の成長を実感

## 2. T-SESのトータル度向上

- AD/ADAS関連は基本ソフトの全ての主要機能の習得を完了し  
車種展開での一括受注へ
- 交通分野は在来線で案件先送りも、ATOSで装置一括受注狙い  
メンバー育成と環境整備進む
- その他部門でも分野毎にトータル度向上に取り組む



サービス価値向上とお客様への訴求効果により  
持続的な採算性の改善と競争力向上へ



# Contents

1. 2023年5月期 連結決算について

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 2024年5月期 重点取組みテーマ

4. 2024年5月期 連結数値計画

- 2年連続の賃上げ実施  
待遇維持と競争力維持のため、全社平均約3.6%アップ
- オンライン学習プラットフォーム導入  
戦略的技術習得と社員の自律的なスキルアップの環境整備
- アフターコロナの勤務形態最適化  
在宅勤務の利点を生かしつつ、チームビルディングを重視し、通常勤務とのバランスを最適化



中長期的な業績拡大と企業価値向上を狙う

## 制御システム

- ・ 再生可能エネルギーで大規模案件請負の担当範囲拡大
- ・ ATOSで装置一括の大規模案件請負完遂、人材育成
- ・ 新幹線で装置一括受注に向け担当範囲拡大
- ・ 在来線はAI運転整理パッケージ開発と線区展開

## 自動車システム

- ・ AD/ADASは基本ソフトを車種展開に一括受注し完遂
- ・ 電動化案件で担当範囲を拡大し、主要機能獲得
- ・ 基本ソフト・モデルベース開発技術者の育成継続
- ・ 車載情報は大型案件完遂と次期案件の獲得

## 特定情報システム

- ・ 危機管理分野で大規模案件請負受注しT-SESのトータル度向上
- ・ 公共分野で実績を作り事業拡大
- ・ 航空宇宙分野(\*1)の大規模案件請負フェーズ2完遂
- ・ 画像+AIで上流設計より参画し、競争力強化

\*1;航空宇宙分野については産業・ICTソリューションセグメントより移換

## 組込システム

- ・ 新ストレージ開発に注力して技術者の育成を維持し、回復後のストレージデバイス拡大に備える
- ・ IoT建設機械をセグメント第2の柱に育成
- ・ カリキュラムによるFW技術者育成、実践リーダー育成継続

## 産業・ICTソリューション

- ・ 駅務機器開発は自動券売機等既存開発を継続し、新分野開拓
- ・ 道路設備はETC試験装置で実績を積み、サーバ開発へ参入
- ・ システム構築関連は大規模案件を受注し規模拡大
- ・ 大規模案件請負を継続しリーダーを育成

# Contents

1. 2023年5月期 連結決算について

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 2024年5月期 重点取組みテーマ

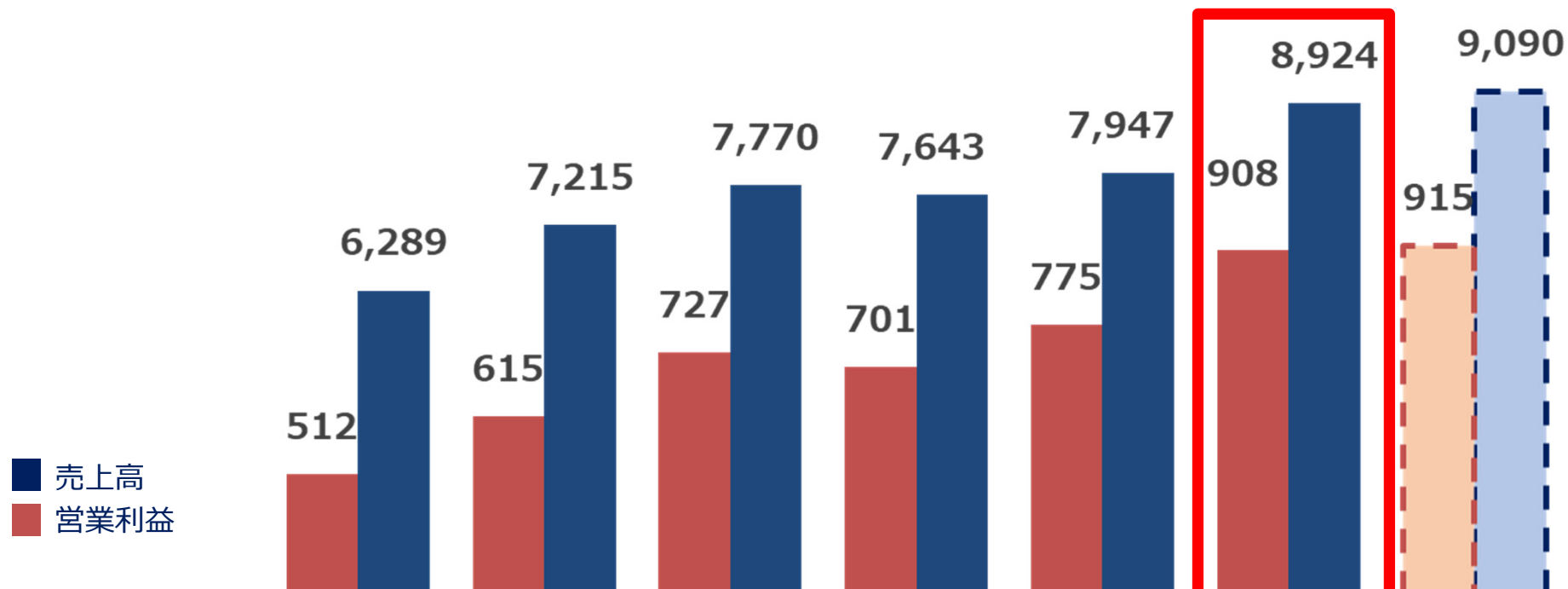
4. 2024年5月期 連結数値計画

# 2024年5月期 連結数値計画

単位：百万円

	23年5月期 実績	24年5月期 計画	増減額 (増減率)
売上高	8,923	9,090	+166 +1.9%
営業利益 (利益率)	908 (10.2%)	915 (10.1%)	+6 +0.8%
経常利益 (利益率)	967 (10.8%)	970 (10.7%)	+2 +0.3%
当期純利益 (利益率)	682 (7.6%)	690 (7.6%)	+7 +1.1%

# 業績の推移



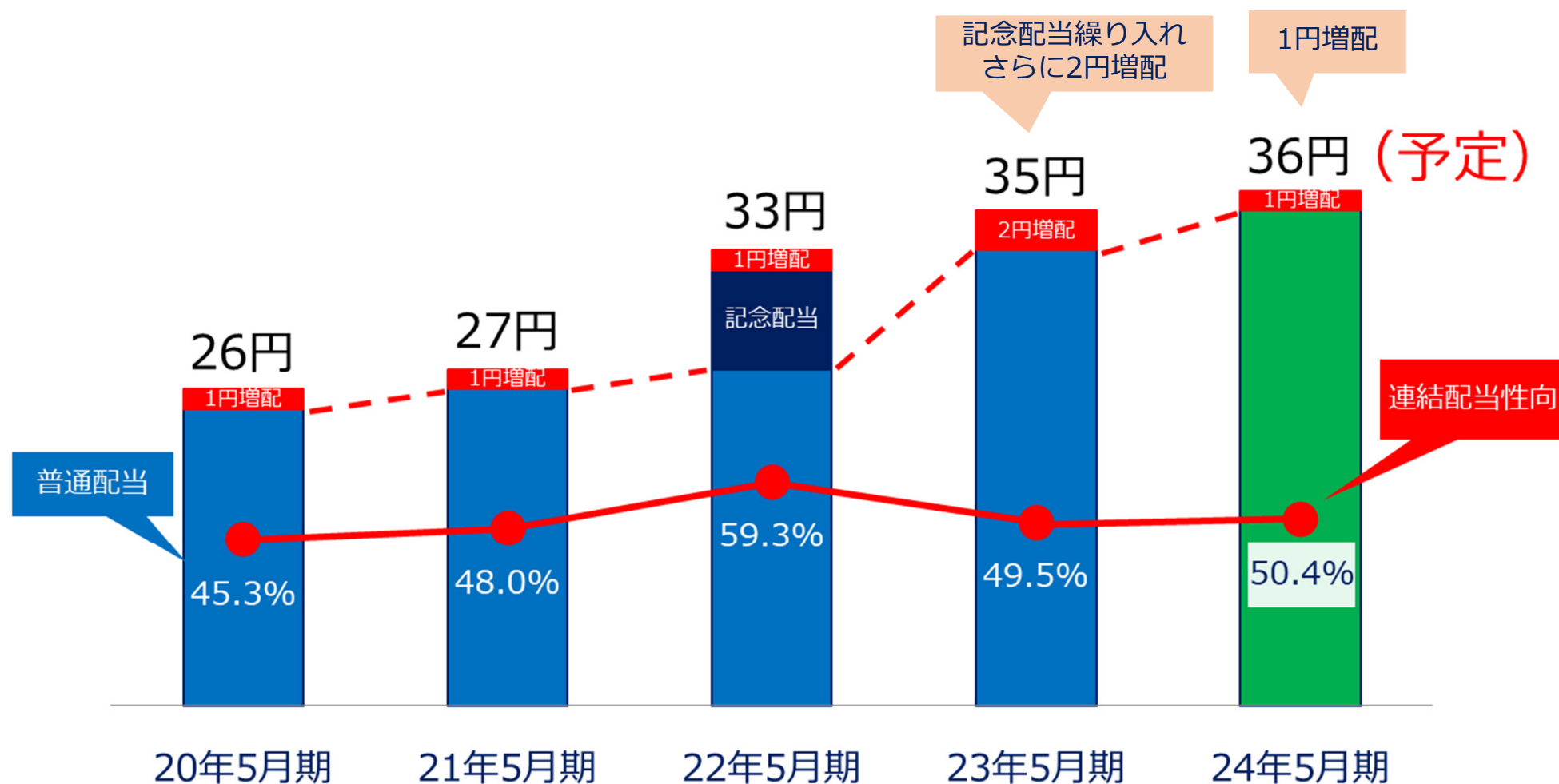
(百万円)	2018年5月期	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	計画
売上高	6,289	7,215	7,770	7,643	7,947	8,924	9,090
営業利益	512	615	727	701	775	908	915
営業利益率	8.2%	8.5%	9.4%	9.2%	9.8%	10.2%	10.1%



## 配当方針

① 安定的配当の継続

② 連結配当性向概ね50%以上を目標



ソフトウェアで、  
社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献します

## 免責事項

本資料は作成時点での予測や仮説に基づく記述が含まれています。

これら将来の見通しに関する記述についてはその実現を保証するものではなく、  
既知、未知のリスクや各種要因により実際の結果、業績と異なることがあります。

お問い合わせ

経営企画部 部長 長坂啓司

[keikibu@jpd.co.jp](mailto:keikibu@jpd.co.jp)